

内谷市長の

ゆるやか「ラム

「魅力ある長井の未来へ向けて」



今年、元日から大きな災害が発生いたしました。令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々にご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。長井市でも関係機関と情報共有しながら、できる限りの支援を行ってまいります。

長井市にも「長井盆地西縁断層帯」があり、大規模な地震が発生する確率は低いものの、いつ大地震が起きてても不思議ではありません。いざという時、自分や家族、地域の人たちでどのように命を守るか、一人ひとり改めて点検いただきたいと思えます。我々行政としても、なお一層災害への備えに力を入れてまいります。

さて、今月行われる「長井の未来を育む少年会議」に先立ち、昨年12月に市内中学校と高校で講話を行ってまいりました。現在市が目指し挑戦しようとしていることについて話をさせていただき、生徒の皆さんからたくさん率直な質問や感想をいただきました。若い世代の長井市に対する意見を聞くことができ、大変嬉しく思っております。少

年会議は、本誌14ページにも記載ありますとおり2月18日(日)に開催予定です。多くの皆様にお越しいただき、生徒の皆さんが長井の未来について考えたことをお聞きたいと思えます。

今年、市制施行70周年を迎えます。この節目の年を市民の皆様と共に盛り上げていけるよう、現在各種事業の検討に入っております。詳しくは今後お伝えしてまいります。この節目を、更に魅力ある長井市にするためのステップとして、皆様と力を合わせていきたいと思えますので、ご協力よろしくお願いいたします。



▲市内中学校・高校で行われた市長講話の様子